

2種アブラバチバンカーキットを組み込んだいちご総合防除体系の実証

要約

バンカーキットはプランターバンカーよりも給水がしやすく、餌アブラムシ、コレマンアブラバチのマミーの密度ともに高く推移した。さらに、バンカーキットの方がほ場内のワタアブラムシにより早く捕食寄生することができた。

なお、ハダニ類の防除についてはバンカーキットの導入により影響を受けることはなく、順調に行うことができた。

○ 展示のねらい

いちごの重要害虫であるアブラムシ類について、コレマンアブラバチとナケルクロアブラバチを組み合わせたバンカー型製剤(バンカー植物上に天敵とその餌昆虫を付着させた製剤)を用いることで、いちごに寄生する複数のアブラムシ類を対象とした防除体系について現地実証を行う。

○ 主な成果

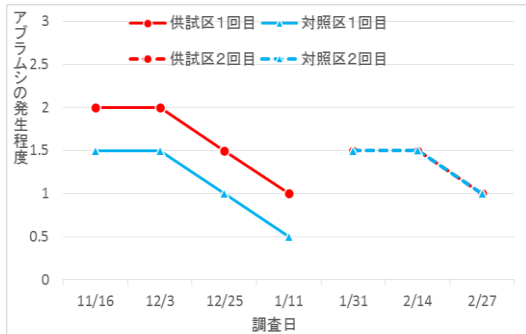


図1 バンカーにおける餌アブラムシ密度

供試区のバンカーキットは給水能力に優れていたため、餌アブラムシ(図1)が高い密度で推移し、アブラバチのマミー密度も同様な傾向で推移した(データ略)。

図2、3のとおり、両区ともに12月上旬にワタアブラムシの発生が多くなった。供試区では同時期にほ場中の株からマミーの発生が確認できたのに対し、対照区では発生がみられなかった。

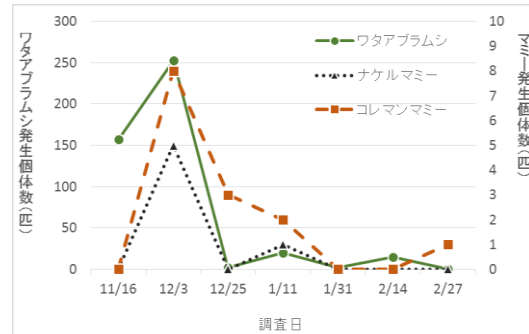


図2 供試区ほ場での発生程度

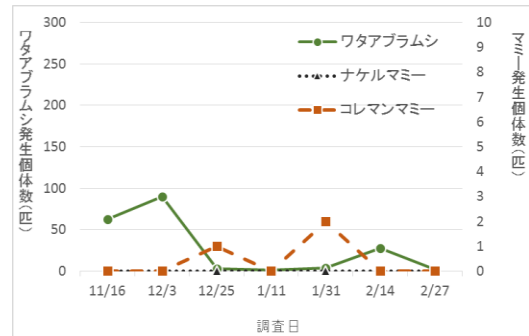


図3 対照区ほ場での発生程度

○ 今後の方向性

餌アブラムシの発生量がマミーの発生量に直接影響するため、餌アブラムシが好む環境で麦を生育することが重要である。

また、麦の穂が出ると餌アブラムシの量が減るため、麦の穂が出る前に次のバンカーの用意をし、マミーの数を減らさないようにしなくてはならない。マミーが減少するとその後の成虫の数も減少するため、化学農薬を散布せざるを得なくなる。

実施機関：芳賀農業振興事務所経営普及部 実施場所：芳賀町
 問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315